

トップランナー



コンブやワカメといった海藻に含まれるヌメリ成分から抽出される“アルギン酸”は、様々な加工食品に利用される他、医薬品・化粧品・繊維・鉄鋼・製紙などの物性改良剤として実に幅広い分野で活用される天然食物繊維の一種である。株式会社キミカは、漂着海藻を有効利用し、“アルギン酸”を抽出、日本で初めてアルギン酸の工業的生産に成功し以来 80 年間にわたり業界を牽引、食と医療の分野では世界トップの生産量を誇っている。近年、SDGs のトップランナー企業としても注目を集め、2020 年、日本の SDGs の最高賞「ジャパン SDGs アワード」特別賞を受賞された。今回、プロジェクト推進室長の笠原善太郎氏より、そのお取り組みについてお話を伺いました。

株式会社キミカ
プロジェクト推進室長
かさらは ぜんたろう
笠原 善太郎 氏

——御社が漂着海藻を有効活用しようと“アルギン酸”に注目されたきっかけ、これまでの御社の歩みをお教えてください。

[Blurred text area]

[Blurred text area]

Zentaro Kasahara : Executive Officer, Project Promotion Department, KIMICA Corporation